

災害対策マニュアル

平成26年4月

特定非営利活動法人

宮城県認知症グループホーム協議会

(目的)

第1条 県内において、大規模な自然災害が発生した場合、災害がある程度おさまり、2次災害等を防止しつつ、特定非営利活動法人 宮城県認知症グループホーム協議会は速やかに災害対策本部（以下「本部」という。）を設置し、県内におけるグループホーム事業所会員（以下「会員」という。）並びに全国グループホーム団体連合会と連携し、支援等の協力体制を整備することを目的とする。

2 本部は、宮城県庁又は各市町村（以下「自治体」という。）と連携し、被害状況等の情報収集を行い、必要に応じて支援や協力を行うものとする。

3 会員以外のグループホーム又は他の福祉施設等（以下「非会員」という。）において、支援や協力が必要な場合は、会員同士連携し、支援や協力を努めるものとする。

(災害時直後の対応)

第2条 自然災害が発生した場合、各会員の事業所は、適切な初期対応を行い利用者並びに職員の安否を確認する。また、施設内外の被害状況等も安全に配慮し確認する。

(方法)

第3条 会員を4ブロック（北、県央、仙台、南）に分け、会長を災害対策本部長（以下「本部長」という。）とし、各ブロックの副会長が副本部長（以下「副本部長」という。）を務め、各ブロック内の会員と連携し、被害状況やその他必要事項について情報交換及び支援等に努めるものとする。

2 各ブロックの副本部長は、被害状況等を速やかに本部長へ報告する。また、他のブロックからの応援等が必要な場合は、近隣ブロックの副本部長が会員と連携し、支援等に努めるものとする。

3 本部は、情報を収集し副本部長並びに自治体へタイムリーな報告を行うものとする。

4 副本部長は、本部又は会員等から収集した情報を速やかに会員等へ報告するものとする。

(連絡体制の整備)

第4条 災害が発生した場合、ライフラインがストップする場合が高いため、電話等が使えない場合は、別紙のブロック別事業所マップ及び緊急時指定避難事業所一覧表を基に各会員同士集合し、情報交換を行うものとする。

2 電話やモバイル等が使用できる場合は、各会員は、各ブロックの副本部長へ被害状況等を報告するものとする。

3 各会員は、災害時用の災害用伝言ダイヤルを活用して被害状況や安否状況等を周知するよう努めるものとする。

4 災害用伝言ダイヤル171の活用を試みる。

○「171」ダイヤル後、利用ガイドンスに従って伝言の録音・再生を行って下さい。

※メッセージを録音・・・171+1+相手先の電話番号（市外局番から）

※メッセージを再生・・・171+2+相手先の電話番号（市外局番から）

※相手先の電話番号は、各副本部長の電話番号を入力する。

（緊急時における燃料等の確保）

第5条 大規模な災害が発生した場合、ガソリン、軽油、灯油、ガス等の確保が困難になる為、本部から「緊急車両」等の許可書発行を自治体へ要請するものとする。

2 副本部長は、各会員の緊急時備蓄一覧表を基に、必要に応じて不足又は無い会員へ分けてもらえるよう協力要請をする。

（救援体制）

第6条 各会員の事業所が被災し、避難先が確保できない場合は、各ブロックの副本部長がブロック内又は他のブロック副本部長と連携し、受け入れ可能な会員の事業所等を検索し、避難先の確保に努めるものとする。

2 救援物資等の支援が必要な場合は、第7条における各事業所の備蓄品等を基に、各会員に救援要請し無理のない範囲で、分けてもらえるよう本部長又は副本部長が要請する。

（緊急時における備蓄品の確保）

第7条 各会員は、自事業所において備蓄品等の一覧表を作成し、以下の内容物品等を必要量各自で確保するよう努力するものとする。※別紙参考様式1

（1）飲料水、生活用水

- ・1人約3リットル×3日以上
- ・洗濯やトイレ等に使用する水の確保として、貯水用のバケツやタンクをできるだけ用意する努力をし、井戸水・河川・湧水等の自然水源を確認しておくよう努める。

（2）食糧

- ・飲料水と同様に、最低3日分の食糧を備蓄するよう努める。
- ・食器類は、紙コップ、紙皿、割りばし等を用意する。

（3）医薬品等

- ・利用者個々の薬を3日以上確保に努める。
- ・薬手帳や処方箋等の準備が必要です。
- ・外用薬、湿布、包帯、ガーゼ等の確保も必要に応じて用意する。

(4) 日用品

- ・スリッパ、軍手、シューズ、ティッシュ、紙おむつ、パット類、女性用ナプキン、ウェットティッシュ等必要物品を確保する。

(5) 防災用機材等

- ・懐中電灯 ・乾電池（単1、2、3、4） ・携帯ラジオ
- ・マッチ（ライター） ・ロウソク ・毛布 ・ロープ ・マスク
- ・タオル ・ビニール袋 ・まき ・その他

(関係機関等との連携)

第8条 本部は、自治体と連絡を取り、必要に応じて会員の事業所等を地域の一次避難所として要請することができる。

2 副本部長は、本部長の指示並びに自主的に一次避難所となっている事業所の支援を行うものとする。

3 副本部長は、会員の事業所が被災し避難場所が確保できない場合は、他の福祉施設等と連携し、受入の確保に努める。

4 非会員又は他の福祉施設等で被災し、避難場所等の確保が困難な場合は、受け入れ可能な会員の事業所を検索し、協力を要請する。

5 本部長は、全国団体連合会等と連絡を取り、無理のない範囲で救援等の協力を要請する。

(その他の事項)

第9条 このマニュアルに記載のない事項について、事実が発生した場合は、本部長並びに副本部長等が協議し、定めるものとする。

附則

このマニュアルは、平成26年4月1日より施行する。

参考様式1

備蓄品等一覧表

| 分類 | 品名 | 数量 | 積算根拠 | 保管場所 | 備考 |
|-------|-------------------|----|------|------|----|
| 食糧等 | 米 | | | | |
| | 非常食 | | | | |
| | 飲料水 | | | | |
| | なべ | | | | |
| | 茶碗・箸 | | | | |
| | カセットコンロ | | | | |
| 医薬品等 | 医薬品 | | | | |
| | 衛生器具 (血圧計・体温計) | | | | |
| | おむつ | | | | |
| | リハパン | | | | |
| | パット | | | | |
| | 生理用ナプキン | | | | |
| | ウェットティッシュ | | | | |
| 情報機器 | ラジオ | | | | |
| | メガホン | | | | |
| | 携帯電話 | | | | |
| | 無線機 | | | | |
| 照明器具 | 懐中電灯 | | | | |
| | ランタン | | | | |
| | ろうソク | | | | |
| | 携帯用発電機 | | | | |
| | 乾電池単1 | | | | |
| | 乾電池単2 | | | | |
| | 乾電池単3 | | | | |
| | 乾電池単4 | | | | |
| | ヘッドライト | | | | |
| 暖房資材等 | 石油ストーブ | | | | |
| | 灯油 | | | | |
| | 携帯カイロ | | | | |
| | 携行缶 | | | | |
| | 新聞紙 | | | | |

| 分 類 | 品 名 | 数 量 | 積算根拠 | 保管場所 | 備 考 |
|------|----------|-----|------|------|-----|
| 移動用具 | 車いす | | | | |
| | 乳母車 | | | | |
| | リヤカー | | | | |
| | おんぶ紐 | | | | |
| | 担架 | | | | |
| 作業機材 | スコップ | | | | |
| | ツルハシ | | | | |
| | のこぎり | | | | |
| | 軍手 | | | | |
| | 長靴 | | | | |
| | ディスボグローブ | | | | |
| 避難用具 | 地図 | | | | |
| | テント | | | | |
| | ビニールシート | | | | |
| | 毛布 | | | | |
| | ゴザ | | | | |
| | ヘルメット | | | | |
| | ロープ | | | | |
| | タオル | | | | |
| | バスタオル | | | | |
| | ビニール袋 | | | | |
| | 下着類 | | | | |
| | 簡易トイレ | | | | |
| その他 | まき | | | | |
| | 炭 | | | | |
| | 貯水用タンク | | | | |
| | バケツ | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

緊急時指定避難事業所一覧表

| NO | マップ番号 | ブロック | 事業所名 | 連絡先 | 備考 |
|----|-------|------|----------|--------------|------------|
| 1 | 2 | 北 | ぎんなん荘 | 0228-22-7888 | 栗原地区 |
| 2 | 6 | 北 | まいはあと | 0228-35-3755 | 〃 |
| 3 | 13 | 北 | あさみず | 0220-35-3151 | 北副本部長 |
| 4 | 16 | 北 | さくら | 0220-58-3742 | 登米地区 |
| 5 | 19 | 北 | さくらおか | 0220-55-5160 | 〃 |
| 6 | 21 | 北 | ふかふかはうす | 0229-87-1350 | 大崎地区 |
| 7 | 22 | 北 | ひだまり | 0229-38-1533 | 〃 |
| 8 | 25 | 北 | あったかいご古川 | 0229-23-2888 | 〃 |
| 9 | 35 | 北 | みずなしの丘 | 0226-24-7290 | 気仙沼地区 |
| 10 | 37 | 北 | 村伝さいち | 0226-25-6880 | 〃 |
| 11 | 45 | 北 | リアスの杜 | 0226-43-2801 | 本吉地区 |
| 12 | 48 | 県央 | ぬくもりの家 | 0225-23-3822 | 石巻中心地区 |
| 13 | 60 | 県央 | ふかや | 0225-25-5560 | 〃 |
| 14 | 62 | 県央 | 愛慈 | 0225-62-3392 | 石巻北部地区 |
| 15 | 68 | 県央 | 桜の家 | 022-355-0396 | 県央副本部長 |
| 16 | 69 | 県央 | ゆうゆう多賀城 | 022-389-2406 | 県央仙塩地区 |
| 17 | 70 | 県央 | やすらぎ苑利府 | 022-766-4662 | 〃 |
| 18 | 76 | 県央 | ゆうらいふ | 0229-43-6662 | 県央遠田地区 |
| 19 | 79 | 仙台 | せんだんの里 | 022-303-7552 | 仙台青葉区 |
| 20 | 85 | 仙台 | さくら高野原 | 022-394-4380 | 〃 |
| 21 | 90 | 仙台 | おちあい | 022-741-1655 | 仙台副本部長 |
| 22 | 93 | 仙台 | 縄文の風 | 022-307-5056 | 仙台太白区 |
| 23 | 98 | 仙台 | なつぎ埜 | 022-349-8105 | 本部長 |
| 24 | 99 | 仙台 | なんてん伊在荘 | 022-288-1333 | 仙台若林区 |
| 25 | 106 | 仙台 | 愛の家仙台岩切 | 022-396-3533 | 仙台宮城野区 |
| 26 | 110 | 仙台 | さちの家 | 022-218-3024 | 〃 |
| 27 | 114 | 仙台 | むらでん高森 | 022-342-6160 | 仙台泉区 |
| 28 | 117 | 南 | もも太郎さん笹生 | 022-383-3851 | 南名取・岩沼 |
| 29 | 122 | 南 | もみの木 | 0224-58-3240 | 南柴田地区 |
| 30 | 126 | 南 | ふれあい | 0224-84-4820 | 南蔵王地区 |
| 31 | 127 | 南 | ふるさと | 0224-32-2811 | 南川崎地区 |
| 32 | 131 | 南 | ながさか | 0224-22-4331 | 南白石地区 |
| 33 | 132 | 南 | 花水木 | 0224-63-2408 | 南角田地区 |
| 34 | 137 | 南 | 悠里の郷 | 0223-34-0281 | 南亘理地区 |